

たちばな

編集・発行

社会福祉法人 津久見市社会福祉協議会
津久見市中央町760番地133
TEL 82-5000 FAX 82-5003

三位一体の見守り・支え合い!!

ブロック別研修会を開催しました

三位とは、区長、民生委員児童委員、
介護予防推進員のことです。



青江ブロック

津久見西ブロック



下浦ブロック



日代ブロック



保戸島・四浦ブロック



津久見東ブロック

区長等(32名)、民生委員児童委員(44名)、介護予防推進員(109名)が、市内6ブロックに分かれて、地域での見守り・支え合い活動について事例検討等を行い、三者間の連携をさらに深めました。地域での孤立(孤独)死や虐待などを防止するために、見守り活動に日々頑張っています。

お互いに見守り支え合う地域づくりには、隣近所への目配り気配りが必要です。皆様のご協力をお願いします。

平成26年度の重点事業と予算



重点項目

①

隣近所での見守り・支え合いの輪を広げる
(地区社協活動に対する理解者を増やす)

②

「つながり」を大切にする地域をつくる
(住民や団体などのつながりづくり)

③

だれもが気軽に相談できる窓口
(24時間対応の総合相談窓口の充実)

取組内容

1

第2期地域福祉活動計画の推進

①第2期地域福祉活動計画は、平成26年度から平成30年度までの計画として策定しました。本計画を推進する上での4つのポイントは、(1)職員が地域に赴き、たくさんの協力者を増やします (2)役を退いた方の力をもう一度地域へ (3)津久見市の活動を全国へ情報発信(インターネットによる) (4)区長・民生委員児童委員・介護予防推進員がスクラムを組めるようサポート

2

地区社協による地域での見守り・支え合い活動の推進

- ①地区社協の活動状況や課題の把握、さらに「つながりの輪」を地区へ広めるための意見交換会を開催します。
- ②地区社協連絡会や研修会を開催し、情報交換やリーダー育成等を通じて地域福祉活動を支援します。
- ③地縁組織・団体だけではなく、あらゆる関係機関団体(医療・教育関係・福祉団体・ボランティア・行政関係等)が主催する会議や研修会の中で、地区社協の活動を理解していただくための説明を行います。
- ④区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の連携強化を図るために、ブロック別での合同研修会を開催します。
- ⑤区役員・民生委員児童委員・介護予防推進員などを退任された方々が、引き続き、地区社協活動にご支援いただけるような仕組みづくりを地区社協ごとに進めていきます。

事業推進にあたって

少子高齢化の急速な進行や生活環境の変化などにより生活課題は多様化しており、制度の狭間による生活のしづらさにつながっています。

従来、福祉で対応する領域は、高齢・障がい・子育て・生活困窮などの対象者別、施策別の支援が中心でした。しかし、ひとりひとりの暮らしを尊重し、その人らしく地域で安心して生活を送るためには、地域の包括的な支援ネットワークによるオーダーメイドの支援体制づくりが求められています。

本会では、このような状況を踏まえ、住民、関係機関、行政と共に地域福祉活動を推進していくための行動計画として、本年より5カ年を計画期間とする「第2期地域福祉活動計画」を策定しました。この計画では、人とひととのつながり、地域での見守り・支え合いなどを通じて、住民自らが主体的に関わり合いをもつことで生まれる「絆」の再構築をするため、職員が積極的に地域に出向き、住民の声に耳を傾けながら、つながることの大切さなど地域での福祉の取り組みについての理解を求め、皆さんと手を携えて、行政や関係機関と連携し、地域の生活課題の解決に向けて事業を進めてまいります。



策定委員会の様子



8 在宅生活支援事業の推進

- ①日常生活自立支援事業を推進します。
- ②生活福祉資金貸付事業を推進します。
- ③寝具消毒乾燥サービス事業を行います。
- ④福祉機器の貸出を行います。
- ⑤ふれあい電話事業を行います。



9 ふれあい交流事業の推進

- ①障がい者日帰りバス旅行を実施します。
- ②福祉施設と地域住民との交流事業を支援します。
- ③関係機関・団体・当事者等の主体的な活動を支援します。

10 災害に関する社協の役割

- ①災害時に助け合える地域づくりを進めるため、地区社協による小地域での見守り・支え合い活動を推進します。
- ②災害時要援護者支援対策モデル事業を行った地区の取り組みを参考に、地域防災計画に基づいた災害時要援護者の把握及び支援体制づくりに取り組みます。
- ③災害ボランティアセンターは、「被災者を支援したいボランティアのニーズ（思い）」と「支援を受けたい被災者のニーズ（困りごと）」の窓口となり、双方の思いを「調整し・つなぐ」役割があります。このセンターの役割を多くの市民の方々へ周知してまいります。

11 自主財源の確保

- ①社協会費制度・共同募金運動の強化に取り組みます。
- ②歳末たすけあいチャリティーショーを開催します。

12 その他事業

- ①広報紙「たちばな」を発行します。
- ②市社会福祉大会を開催します。
- ③ベンチ設置事業を実施します。
- ④福祉バスの運行を行います。
- ⑤関係団体への活動支援を行います。



3 津久見市社協のホームページ・フェイスブックの開設

- ①多くの市民の皆さんが、地域福祉に対する理解を深めてもらうため、地区社協、ボランティア・民生委員児童委員等の活動をホームページやフェイスブックを利用し積極的に発信していきます。

4 「津久見市保健福祉ゾーン構想」の推進に伴う総合相談窓口の充実

- ①24時間・365日対応できる市民総合相談窓口の充実を図ります。
- ②定期的な生活相談（心配ごと）・専門相談（法律・年金など）の日を設けます。
- ③高齢者や障がい者の相談窓口を充実させるため、「地域包括支援センター社協」や「サポートセンター竹とんぼ」の事業活動を推進します。
- ④相談対応やサービス提供がワンストップで行えるよう、行政の窓口業務との連携を図ります。

5 市民ふれあい交流センターの運営

- ①地区社協やふれあいサロンの交流拠点として活用します。
- ②専門相談事業を推進します。
- ③ボランティアセンター機能の充実を図ります。
- ④福祉関係団体事業所・NPO・地域組織等の活動、交流拠点として活用します。

6 ボランティア活動の推進

- ①ボランティアセンターの充実に取り組みます。
- ②ボランティアコーディネーターを設置し、活動を支援します。
- ③夏休みボランティア体験学習を開催します。
- ④ボランティア協力校（市内全校指定）の活動支援と意見交換を開催します。
- ⑤ふれあい出前講座による講師の派遣を行います。

7 機関・団体とのネットワークづくりの推進

- ①津久見市福祉施設・事業所連絡会の開催（参加施設事業所19）を行います。
- ②津久見市ボランティア連絡協議会の支援を行います。
- ③福祉施設事業所とボランティアグループとの意見交換会を行います。
- ④区長と民生委員児童委員との意見交換会を行います。

社協収支予算書

収 入		支 出	
科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
会費収入	4,000	共同募金配分金収入	2,556
寄付金収入	4,400	介護保険収入	8,508
市補助金	26,088	貸付事業収入	500
県社協補助金	18	負担金収入	1,757
市・県社協受託金	54,049	その他収入	4,562
事業収入	180	前年度繰越金収入	6,500
		収 入 計	113,118
		事業運営費	89,856
		貸付事業	530
		共同募金配分事業費	2,556
		各種助成金	6,566
		退職共済預け金支出	4,251
		その他支出	4,123
		予備費	4,780
		支 出 計	112,662



地区社協だより



冬から春におこなわれた、
各地区社協の取り組みについてお知らせします。

地区社協とは、

地域で見守り・支え合い活動を行う組織で、主に区役員、民生委員児童委員、介護予防推進員が中心となって、住民と一緒に地域の課題等について話し合い、つながりづくりを行っています。

地区社協・青江



地区社協・青江と竹田市直入地区社協の合同研修会を3月20日に開催しました。

地区社協の活動には、やはり自治会等地域の協力が大切等活発な意見交換がされ、お互い今後の活動に役立つ研修会でした。



総会スタート!

千怒区社協 (4月10日)
消防格納庫2階



(総会の様子)

- ・新たな委員も加わり地区社協について再確認
- ・役を退いた方にも協力していただけたら等の意見が出ました。

川上区社協 (4月11日)
ふれあい交流センター



(総会の様子)

- ・新たに見守り員を位置づけ
- ・参加者みんなで運営するサロンづくり
- ・今後の担い手をどう育成していくか等の意見が出ました。

入船区社協



入船区社協は、地域住民の交流を目的に、2月16日にウォーキングを開催。当日はラジオ体操の後、4kmと1.5kmの部に分かれて、4歳から85歳までの105名がおしゃべりをしながら、元気に歩きました。お昼には、婦人会の作ったおにぎりとお汁で会話も弾みました。



【各地区社協総会の予定】

4月15日 地区社協・青江

4月24日 網代地区社協

5月 8日 川内地区社協

警固屋地区社協

5月 9日 彦ノ内区社協

竹とんぼ通信

うばめ園あゆみ 活動紹介



常時介護を必要とする障がいのある方が自立した日常生活、または社会生活を営むことが出来るよう、創作的活動、文化的活動、及びレクリエーションを行っています。

演歌ビクスで楽しく心身のリフレッシュ♪

うばめ園あゆみでは社会訓練や社会との交流の機会を設けています。毎月1回、演歌ビクスを実施しています。演歌ビクスとは、ポップスから演歌まで様々な音楽に合わせて楽しく体を動かす運動です。椅子に座りながらもOKですので、自分の体やペースに合った運動が出来ます☆無料で、どなたでも参加出来ますので多くの方のご参加をお待ちしています!



問い合わせ先：82-0353(うばめ園あゆみ)

新メンバーが加わりました!!



障がい者虐待相談について

平成26年4月より津久見市障がい者虐待防止センターと連携し、サポートセンター竹とんぼでも障がい者への虐待通報や相談の受け付けを行うようになりました。

〈お問い合わせ〉
津久見市障がい者虐待防止センター
(福祉事務所内)
電話 82-9519/FAX 82-9466
サポートセンター竹とんぼ
(津久見市社会福祉協議会内)
電話 82-1888

知的障がいって？ 子どもの成長の過程であられる 障害の一つに知的障がいがあります。



① 具体的には？

- ・ 知的な能力が年齢に応じて発達していない状態です。
- ・ 仕事や勉強やコミュニケーションなど、社会生活への適応が困難な状態です。
- ・ およそ18歳までの発達期にあられます。

② 特徴は一人ひとり違う

障がいのあらわれ方も一人ひとり特徴があり個性的です。

一見、障がいを感じさせない方もいますが、複雑な会話が苦手であったり、考えるのに時間がかかったり、状況を判断して予想や計画を立てることが難しいという方もいます。

③ 周囲の理解が助けになる

知的障がいのある方は、多くの困難を抱えています。しかし、周りの人の理解や支援によって、その方なりに、一步一步成長していける可能性もっています。

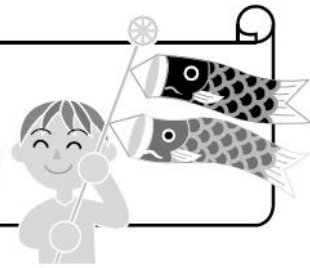
たとえば…

- ・ 短く、ゆっくり話す。言葉や文字だけでなく身振り・絵・写真・メモなどを使う。
- ・ 思っていることを出来るだけ具体的に、わかりやすい言葉で伝える。
- ・ 急がせず、落ち着いて言葉が出てくるのを待つ。
- ・ 聞いたことを、伝え返して確認する。 など

お互いを理解し、知恵を出し合って、住みやすい地域を共に作っていきましょう。

(お問い合わせ先) **サポートセンター竹とんぼ** 電話82-1888
(24時間、土・日・祝日も電話相談できます)

こんにちは
地域包括支援センター社協です



養成講座を受けて

認知症サポーター
養成講座 受付中

認知症サポーターになりました

4月20日

視覚障がい者・ガイドボランティア
あけぼの会の皆さん



近所仲良く
声掛け合って
予防しような～

ただいま
津久見サポーター

1621名
(キッス含む)



認知症になっても
安心して暮らせる街づくり



2月24日

地域密着型特定施設「ココロ」の職員さん

2月25日

入船婦人会・みっば会の皆さん

見守り・声かけ・支えあい

ルールは簡単!
認知症予防に!!

ヨミヨミケーション マージャン

今年度は、新たに
「体操」もメニューに
加わりました!!



《開催場所》市民ふれあい交流センター(社会福祉協議会横)
《参加費》無料です。*どなたでも参加できます。

今後の予定

5/20、6/17、7/15、8/19
10時～15時

ちよつとひと息♪

夏も近づく八十八夜♪～

今年も新茶の季節になりました。八十八夜に摘んだ新茶を飲むと1年間健康で無病息災と言われていました。また昔から「長寿の秘薬」と言われるほど栄養価にすぐれ、がんの予防効果も高いようです。

薫り高い新茶でリフレッシュしてみてもいかがでしょうか。

ハートの会通信

3月26日(水)に介護ホーム秋桜の第1回介護者のつどいに参加しました。同じ思いの仲間が集まることは嬉しいですね。

ハートの会の仲間は月をおうごとに絆が深まって楽しい時間を過ごしています。

お元気通信 No.14



《プロフィール》
 氏名 水野 敏治さん(88歳)
 生年月日 大正14年12月21日
 住所 津久見市四浦(刀自ヶ浦)

愛知県名古屋市で4人兄弟の末っ子として生まれる。若い頃は東京にて公務員として働き、30歳で結婚。38年前に奥様の地元である津久見へ転居してきた。その後は土木関係の仕事しながら生活してきた。現在は趣味を楽しみながら元気に生活している。

長生きの秘訣は
 くよくよしない
 明日のことは考えず、
 気楽に過ごす
 ストレスをためない

趣味は旅行・写真・カラオケ♪



カメラは毎日持ち歩いてるよ！



明日は明日の風が吹く

二次予防事業～参加者成果報告～

平成25年12月13日～平成26年3月14日の3ヶ月12回にわたり、6名（平均年齢79歳）の方にご参加頂き「めじろん元気アップ体操」を行いました。



〈体力測定結果〉6人の平均値

	握力	片足立ち	5m歩行	5m早足歩行
初回(12/13)	15.8kg	17.9秒	5.3秒	4.4秒
最終(3/14)	18.4kg	27.1秒	4.6秒	3.8秒



▶▶▶上記項目を含む6項目すべてで向上しました。

参加者の声！



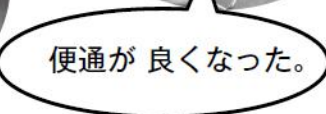
体操をした後は気持ちがいいです。



草むしりをしたけど、身体が痛くならなかった。



足取りが良くなったと言われる。



便通が良くなった。



今年度も随時二次予防教室を行っていきます。
 対象者の方にはご連絡を致しますので、ご参加よろしくお願い致します。

(お問い合わせ先) **地域包括支援センター社協** 電話82-4124
 (24時間、土・日・祝日も電話相談できます)

5月

ふれあいいいきサロン

3/7(金) サロン連絡会 津久見市民会館にて



〈講師〉
白杵市医師会立コスモス病院
理学療法士 本田 祐一氏
作業療法士 野田 唯菜氏

サロンや家庭でできる簡単な体操を教えてくださいました。講師の先生の話に皆さん興味津々。実際に体操をおこないながら、笑いあり、和やかなムードで心も体も温まりました。早速、サロンで実施している地区もあり、大好評でした。ありがとうございました。



3/11(火) 西の内サロン

唱歌かるたでは懐かしの曲を
全員大きな声で歌い盛り上がりました。



グーパー体操

頭の体操で
気分すっきり！



唱歌かるた

今でもスラスラ
歌えるでえ〜♪

2/20(木) 彦の内サロン

総勢100人での地区対抗戦！
スプーンゲームはまごころ渡しと称し、
皆さんのまごころをつなぎ渡していました。

おととと…
張り切りすぎたかな…

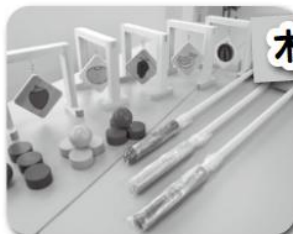


ディスコン



スプーンゲーム
「まごころ渡し」

新しいゲームの ご紹介



木製ゲートボールくだもの

ゲートの位置や打つ距離を
変える事で、変化に富んだ
プレイ可能な室内用ゲート
ボール。



DVD

- 綾小路きみまろ
(爆笑！最新ライブ名演集)
- 三遊亭 歌之介



リハビリマット

転倒の予防の為、
歩行時の目線の改善をゲーム
感覚でお楽しみいただけます。

ボランティアだより!

1月～2月にかけて、津久見小・青江小・堅徳小、千怒小の3年生を対象につくみ環境美化グループと駒打ち体験をしました。

青江小学校



津久見小学校



千怒小学校



堅徳小学校



※350年程前、シイタケの人工栽培を始めたのは津久見出身の源兵衛氏です。

津久見市ボランティア連絡協議会

3月8日(土)大分県ボランティア・NPO推進大会へ18名のボランティア会員で参加しました。



こちらは1/14に行われた県南ブロック研修会(臼杵)の様子

ふれあい出前講師

いろいろな方に講師登録をしていただいています。地域や各種団体等の研修などにもどうぞご利用ください。

A/A

収集ボランティア鈴の会にて「正しい薬の飲み方」の研修会 (講師 矢野忠則氏)

A/5

日見サロンにて命の貯蓄体操 (講師 塩崎敬子氏)

ボランティア紹介

自分たちの健康づくりをしながら、地域にも簡単な体操指導を目指しています。

健康体操・歩み

ボランティア活動してみませんか?

NPO法人ピースワークつくみ 設立10周年

田植え体験学習



いろいろな体験活動の中で子どもたちの健全な成長を育みます。スタッフも気持ちのよい汗を流しています。

民児協だより

民生委員・主任児童委員の活動を紹介します。

新任委員研修会

1月15日、昨年12月の改選で新しく委員となった29名を対象に研修会を開きました。

市役所の関係課や社協から、民生委員や主任児童委員活動に関係ある施策や事業についての説明がありました。新任委員には、内容量の多い研修となったようです。



女性部会研修会

2月28日、改選により退任された2名の先輩委員を招いて、女性委員による研修会を開催しました。

任期21年を終えた柳生操子さんと、任期18年を終えた高野友子さんより、民生委員活動についてのアドバイスがあり、今後の活動の道標となる研修内容となりました。

青江小学校クリーン活動

3月3日、卒業式を目前に控えた青江小学校6年生の「お世話になった地域をきれいにしたい。」との思いから、クリーン活動が開催されました。

気持ちの良い陽射しの中、盛人クラブやPTA、青江地区の民生委員が参加し、6年生と一緒に地域を回りながらゴミ拾いを行いました。



赤い羽根共同募金地域助成事業の募集について

皆様からお寄せいただく赤い羽根共同募金の一部を、地域福祉を推進する目的に事業を実施するボランティアグループや地域団体（地区社協等）などに対し、助成を行います。

助成を受けようとするグループや団体につきましては、下記の通りお願いします。

- 【募集期間】 平成26年4月7日（月）から平成26年5月23日（金）
- 【助成金額】 1事業につき5万円以内（助成できない場合もあります）
- 【助成時期】 平成27年6月予定（26年度の共同募金からの助成）
- 【申請手続】 津久見市共同募金委員会備え付けの申請書類等を提出
- 【助成対象】 市内のボランティアグループ、自治会（地区社協）等
詳しい内容につきましては、お問い合わせください。
- 【問合せ先】 津久見市共同募金委員会事務局（社会福祉協議会内）
（住所）中央町760番地133 （電話）82-5000



あたたかなご厚意ありがとうございました!!

平成26年1月1日から3月31日までの間に次の方々より、ご寄付をいただきました。
 なお、金額未掲載（金一封表示）は寄付者の申し出によるものです。（敬称は略させていただきます）

香典返し寄付 平成26年1月1日から3月31日までの合計金額 1,205,000円（58件）

寄付者氏名	(故人)	住所	金額	寄付者氏名	(故人)	住所	金額
●小林 峯子	(由生)	高洲町	金一封	●佐藤 公子	(新平)	中田	金一封
●庄司 勝	(ヨシエ)	入船西町	金一封	●織田 達夫	(タカ)	井無田町	金一封
●葉師寺 豊	(正)	長目	金一封	●甲斐 英宏	(安人)	落ノ浦	50,000
●木下 豊子	(末義)	津久見浦	金一封	●清水 光義	(ヤスコ)	江落ノ浦	金一封
●松崎 タズエ	(寛)	港町	金一封	●小松 文彦	(哲朗)	江落ノ浦	金一封
●岡本 秀文	(禮吉)	中央町	金一封	●宗 早苗	(則夫)	中央町	金一封
●広瀬 修一郎	(ツル)	高洲町	金一封	●金馬 幹人	(種吉)	保戸島	金一封
●田中 陽子	(太郎)	日見	金一封	●小松 達也	(シズ子)	千怒	金一封
●東 宗生	(大戸シズエ)	千怒	金一封	●松井 壽雄	(ミナ)	新彦ノ内	金一封
●古手川 達雄	(岩夫)	門前町	金一封	●市野瀬 博康	(順一)	新彦ノ内	金一封
●田村 康之	(一真)	日見	金一封	●内田 政夫	(ハズエ)	中彦ノ内	金一封
●磯辺 潔	(國男)	千怒	金一封	●高橋 栄子	(和秀)	彦ノ内	金一封
●庄司 雅子	(文昭)	上宮本町	金一封	●前川 美穂子	(俊貴)	網川内	金一封
●大戸 文子	(勲)	徳浦本町	金一封	●吉良 康成	(綾子)	川内	金一封
●亀川 貴志	(光善)	落ノ浦	金一封	●遠藤 チヨ子	(明正)	徳浦本町	金一封
●村上 孝伸	(フジ子)	滋賀県草津市	金一封	●石井 文明	(正雄)	入船西	金一封
●新納 昌昌	(キヨ)	西ノ内	金一封	●中谷 孝	(キサエ)	福原	金一封
●鶴橋 準	(國男)	保戸島	金一封	●中津留 フジ子	(要正)	高木	金一封
●日高 和子	(峰雄)	入船西町	金一封	●高木 サキ子	(梓)	高木	金一封
●江口 康利	(和太郎)	保戸島	金一封	●成松 治美	(喜久治)	高彦ノ内	金一封
●岩崎 文雄	(初子)	西ノ内	金一封	●藤田 紀彦	(タマエ)	津久見浦	金一封
●清家 暁子	(政孝)	文京町	金一封	●木津 鉄生	(キヨエ)	元ノ内	金一封
●野田 慶司	(寿嬉)	徳浦本町	金一封	●川野 重幸	(タカ)	彦ノ内	金一封
●大久保 彦俊	(公子)	彦ノ内	金一封	●野脇 安彦	(静子)	岩屋	金一封
●山本 一心	(嘉一)	千怒	金一封	●竹田 和夫	(ひろ子)	長目	金一封
●上野 辰夫	(正彦)	高洲町	金一封	●塩崎 義輝	(キクエ)	長彦ノ内	金一封
●塩崎 通子	(昇司)	彦ノ内	金一封	●高野 敏広	(ミツ子)	中保戸	金一封
●仲村 淳	(茂)	セメント町	金一封	●江藤 賢治	(新名ミツエ)	保戸島	金一封
●佐藤 修	(肇)	上宮本町	金一封	●安藤 克博	(藤七)		金一封

一般寄付 平成26年1月1日から3月31日までの合計金額 110,975円（6件）

- 宇都宮 修二 金一封
- 匿名 金一封
- 匿名 金一封
- 匿名 金一封
- 男の料理教室(公民館) 金一封
- 第二中学校生徒会 88,435



第二中学校生徒会より
ご寄付をいただきました

物品寄付 平成26年1月1日から3月31日までの合計（3件）

- 匿名 大人用おむつ・おしりふき
- 匿名 大人用おむつ・簡易トイレ・歩行器・車椅子
- 匿名 大人用おむつ



赤い羽根共同募金の配分金で、昨年度市内5地区に木製ベンチ（建築士会の作成）を設置しました。



つくみ ～点から線へ 線から輪へ～

基本目標 1 支え合いのネットワークづくり

それぞれの地域において、「隣近所での見守り・支え合い活動」が進められるよう、地域福祉活動の基盤である地区社協を中心に、地域全体に支え合いの輪が広がるように支援していきます。例えば、ふれあいサロンや地区社協主催の交流事業の場を利用するなどして、住民同士の絆づくりの推進を図っていきます。

- 地域のあらゆる機会を利用し、職員が地区社協活動の理解を深めて頂くように、説明を行ってまいります。
- 区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の三者による合同研修会を開催します。（研修会にて、情報の共有・共通認識づくりを進めます。）
- 若い世代に対して、地区社協やボランティア・民生委員児童委員などの活動をホームページやフェイスブックにて随時情報掲載し、理解者を増やすように努めます。
- 区役員・民生委員児童委員・介護予防推進員などを退任された方々が、引き続き、地区社協の進める見守り・支え合い活動にご支援いただけるような仕組みづくりを、地区社協ごとに進めていきます。
- 各地区のふれあいサロンが、いつ、どこで、どのような内容で行われているか、市民の方々へ情報提供するためのサロンマップを作成します。
- ふれあいサロンの年間計画の作成を職員が支援します。
- 資格を有する方で、現在その職を離れている方にボランティアとして社協に登録していただき、ふれあいサロンに協力していただきます。 その他



基本目標 2 地域を担う人づくり・環境づくり

地域の福祉課題を身近なものとして理解・共感できるように、地域福祉活動やボランティア活動に主体的に参加できるきっかけづくりや、福祉についての体験や学習の機会を増やしていきます。

- 社協に登録しているボランティア（個人・グループ）と、各種団体や地区社協活動などとの情報共有や課題解決のための意見交換を進め、新たな連携・協働による地域づくりを進めます。
- 地域に出向き、少人数でも受講出来る出前ボランティア講座を開催し、ボランティア活動への機運を高めます。 その他

基本目標 3 福祉情報を発信する拠点づくり

だれでも気軽に地域福祉活動やボランティア活動に参加できるよう、また、必要なときに必要な情報や福祉サービスを利用できるよう、わかりやすい情報提供や福祉啓発の充実を進めます。

- 社協事業や福祉サービスに関する情報の周知を図るため、職員が地区社協やふれあいサロン等の地域活動の場へ出向きながら説明します。また、必要なときに必要な情報が利用できるように、インターネットにて情報提供を行います。

第2期地域福祉活動計画

基本理念

人と人との絆を育むまち

基本目標4 福祉課題の発見の仕組みと気軽に相談できる窓口づくり

新たな福祉課題・生活課題の解決に向けて分野を問わず気軽に相談できる窓口体制と、制度の狭間にある要望を解決できる新たなサービスの仕組みづくりを進めます。

- 24時間365日対応の相談窓口を多くの方に周知出来るようにしていきます。とりわけ情報が伝わりにくく、声が届きにくい離島や半島部については、情報をお知らせするための懇談会を開催するなど積極的な関わりを進めます。
- 障がい者相談支援事業所として、障がい者が安心して地域で暮らせるよう、当事者やその家族と地域をつなげるために安心お守りキットへの登録を推進します。
- 包括支援センター社協の関わっている利用者が、入院・入所などの状況の変化が生じたときに、民生委員児童委員へその情報提供を行い、見守り活動の連携を図ります。(ただし、利用者への事前承諾を頂きます。) その他

基本目標5 地域福祉を支える多様なネットワークづくり

地域福祉を支えるボランティア・市民活動団体や福祉関係事業所などの横のつながりを図り、地域との連携や支援活動の基盤づくりを進めます。

- 地域福祉を支える福祉関係事業所・ボランティア・民生委員児童委員などの連携を図るための意見交換会を開催します。

基本目標6 災害に備えた仕組みづくり

東日本大震災や北部九州豪雨災害など、いつどこでどのような災害が起こるかわかりません。社協として、災害時要援護者の方々の支援の在り方について、地域・行政・関係機関と一体となった仕組みづくりを進めます。また、災害時に立ち上がる災害ボランティアセンターの運営強化、さらには、災害ボランティアの育成・啓発についても取り組んでいきます。

- 災害時要援護者支援対策モデル事業を行った地区の取り組みを参考に行政が推進する地域防災計画に基づいた災害時要援護者の把握及び支援体制づくりに、側面的な支援を行います。
- 障がい者相談支援事業所としては、災害発生が予測される場合のサービス利用者への情報提供（避難情報等）や、災害時における安否確認及び迅速な生活課題把握の連絡網や支援体制の整備を行います。
- 包括支援センター社協としては、災害発生が予測される場合のサービス利用者への情報提供（避難情報等）や、災害時における安否確認及び迅速な生活課題把握、また、集約した情報を関係機関と共有するための仕組みづくりを行います。
- 災害ボランティアセンターは、「被災者を支援したいボランティア」と「ボランティアの支援を受けたい被災者」をつなぎ・調整する役割があります。この役割を市民の方へ理解いただくための説明を、様々な研修会や地区懇談会にて行います。



ホームページ はじめます!!

皆さんから愛される
ホームページを
目指します(*^_^*)

5月中に
開設予定です

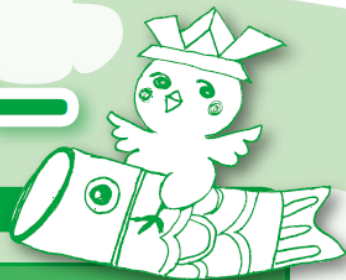


「つくみ社協」で検索して下さい。
皆さんの閲覧をお待ちしていま〜す♪
<http://tsukumi-shakyo.jp/>



“つなぐ・広げる・地域の輪”～市民の福祉活動や交流の場として～

市民ふれあい交流センター



専門相談カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1 弁護士会	2	3
4	5	6	7 消費者 行政	8 司法書士 サポステ	9	10
11	12	13	14 消費者 行政	15 弁護士会	16	17
18	19 行政 書士会	20 心配ごと (悩みごと)	21 消費者 行政	22 鳥越弁護士 サポステ	23	24
25	26	27	28 消費者 行政	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 心配ごと (悩みごと)	4 消費者 行政	5 弁護士会	6	7
8	9	10	11 消費者 行政	12 司法書士 サポステ	13	14
15	16 行政 書士会	17 心配ごと (悩みごと)	18 消費者 行政	19 弁護士会	20	21
22	23	24 年金相談	25 消費者 行政	26 鳥越弁護士 サポステ	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1 心配ごと (悩みごと)	2 消費者 行政	3 弁護士会	4	5
6	7	8	9 消費者 行政	10 司法書士 サポステ	11	12
13	14	15 心配ごと (悩みごと)	16 消費者 行政	17 弁護士会	18	19
20	21	22	23 消費者 行政	24 鳥越弁護士 サポステ	25	26
27	28	29	30	31		

交流センター利用風景

もちつき交流会



平成25年度は
約9,000人の
ご利用がありました!

〈お問合せ先〉

市民ふれあい交流センター ☎82-5611

